

福井大学医学部看護学科 教育プログラムとアウトカム基盤型教育

福井大学医学部看護学科では、医学部の**理念**（39 ページ）のもと、卒業時に達成すべき学修成果を**アウトカム**として定め、それらを達成するために卒業までに修得すべき能力を**コンピテンシー**として設定する、**アウトカム基盤型教育**（Outcome-Based Education、OBE）に基づいた教育プログラムを構成しています。

本学のアウトカムは 3 項目からなり、それぞれのアウトカムに必要なコンピテンシー大領域を 8 項目設定しています。さらに、コンピテンシー大領域のそれぞれを具体的な能力として表した 34 項目の小領域を設定しています。アウトカム、コンピテンシー大領域、小領域の詳細は、**ディプロマ・ポリシー**（42～45 ページ）に記載します。

この OBE プログラムでは、卒業までにコンピテンシーを順次修得できるよう**カリキュラム・ポリシー**（46 ページ）を定めて**カリキュラム**を構成（47～49 ページ）し、「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」（文部科学省）、「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 看護学分野」（日本学術会議）、「看護学士課程教育におけるコアコンピテンシーと卒業時到達目標」（日本看護系大学協議会）及び「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠するとともに、本学の特色ある教育を含めています（50～51 ページ）。そして、これらの修得状況は、各年次・各科目におけるコンピテンシー小領域に対応したそれぞれの達成レベル（52～55 ページ）によって評価し、単位として認定します。さらに卒業時には、最終的にアウトカムを達成できたかどうかを評価（**アウトカム評価**）（56 ページ）し、学位を授与します。

OBE における「理念→アウトカム→コンピテンシー→カリキュラム→アウトカム評価→学位の授与」の関係を次に示します。

